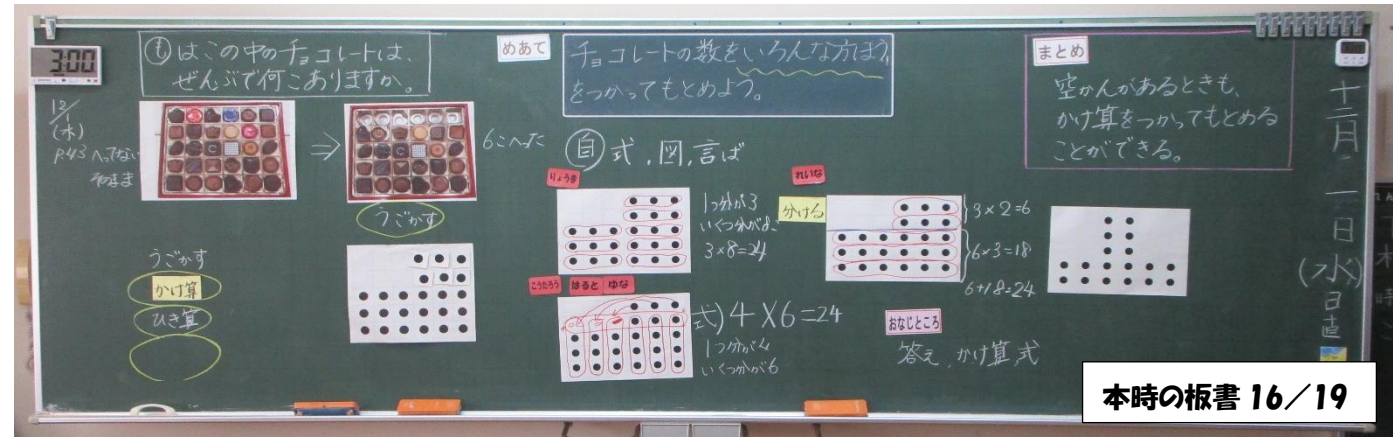


12月1日(水)は、宮地先生による算数科の研究授業でした。本単元は、「かけ算」で、本時は乗法九九を活用して問題解決する授業でした。授業と事後研究の様子をお知らせします。本時は、16/19時間目です。

**単元名 「九九をつくろう(かけ算(2))」 全19時間 2年1組 宮地 美如 教諭**

**身に付けさせたい力**：○乗法九九(6,7,8,9)について知り、1位数と1位数との計算が確実にできるとともに簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算の仕方を理解する力  
○数量の関係に着目し、計算の意味や仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりするとともに、計算を日常生活に生かそうとする力



### 授業者のリフレクションシートより

- 目・対**・班活動を設定することで、他の児童がどのように考えているかを知る時間を設定できた。しかし、どのように考えたのかを知ることにとどまったため、新たな考えを知り、実際にやってみる時間の設定があればよかった。
- 課題**・チョコレートという児童の興味をひくものを使って、導入を行うことができた。他の授業でも「日常と結びつけて考える」という視点をもって授業づくりをしていきたい。
- 見・考**・前時との比較を行うことで、本時でどのようなことを考えるのか、児童が分かって取り組めた。多様な考え方ができる問題では、数学的な見方・考え方を働かせるために、1つずつ考えを取り上げるのではなく、初めに児童の考えを複数出させるようにしたい。

### 授業参観の視点(3点)に沿ってグループで協議を行い、全体共有しました。(抜粋)

#### 1 本単元で身に付けさせたい資質・能力を育成するための主体的・対話的な学習の設定

- ▼対話の活動はあったが、本当に伝わっていたか。
- ▼めあてとまとめの整合性は、どうであったのか。
- ▼前半に多くの時間を使っていたので、時間配分を考える必要がある。



#### 2 児童が本気になる課題の工夫

- チョコレートを取り上げた日常生活場面、ICT活用が興味付けとなり、子ども達を引き付けていた。
- 題材、動画が効果的であった。

#### 3 「数学的な見方・考え方」を働かせるための手立て

- 図、式、言葉を使ってよかった。
- 図、言葉、式をもとに、まとめへ着目させるための問い返して広がっていた。
- ▼キーワードを使うと引く考えが出たのではないかと。導入時の30-6を拾い上げて考えてもよかった。
- ▼児童1人ずつの考えを確認していくのではなく、多様な考えを一度に出して数のまとまりに着目しながら考えさせていきたい。
- ▼子ども達が考えたいろいろな求め方から、より簡単な方法、便利さにつなげていきたい。

### 奥谷 指導主事より(本単元・本時の学びのポイント)

#### ○数のまとまりに着目する。

- ・導入での30-6。縦5こ、横6こと数のまとまりが子ども達には見えていた。30-6を生かすとよかった。
- ・これまでどのちがいがから問いが生まれる。きっちりならんでいた問題から空間がある問題を比べ、空間があっても数のまとまりをつくらとできるのではないかと、数のまとまりに着目させたい。そのため、めあてを焦点化してもよかったのではないかと。
- ・「4x6は、どこが4?どこが6?」「〇〇さんの言っていることってどんなこと?」と問い返しているところはよかったが、もっとまとまりに目を向けさせるとよかった。
- ・「動かす、分けて足す、ないものをあるとみて引く」など友達の考えで、思考の幅が広がる。そのため板書にもっと残すとよかった。みんなで共有・理解させたい。

#### ○全国学力・学習定着状況調査の問題から

- ・本時の学習は、4年面積、5年体積へとつながっていく。求め方を説明できるようにしておくことが大切。いろいろな方法を知って使い分けられることができるようにする。

今回は、乗法を活用する場面でした。日常生活と結び付けた問題、ICTを活用した導入の工夫、対話の設定などこれまでの研究授業からの学びを生かした授業になっていたのではないかと思います。また、発問や問い返しなど子ども達の考えをさらに引き出そうとする宮地先生、どんどん授業力を付けているなど感じられる授業でした。初心者研修もわずかになりましたが、授業力向上のためにいっしょに授業づくりを考えていきましょう！  
宮地先生、お疲れ様でした。